

その他の隣接医学	小児科学
----------	------

[講義] 第5学年 前期 必修

《担当者名》教授 / 太田 亨 ohta@hoku-iryo-u.ac.jp

【概要】

小児の診療に必要な知識を得る。

【学修目標】

小児の発達・疾病について基本的な知識を持ち、外来診療上必要な情報を聴取し評価する。
疾病罹患患者が歯科治療を受診した際に、その疾患の知識をもって適切な対応を行う。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	小児の感染症 小児の免疫・アレルギー性疾患	小児によく見られるウイルス感染症と細菌感染症 喘息・アトピー性皮膚炎・紫斑病・免疫不全 について、学ぶ。	太田 亨
2	新生児・先天性疾患	新生児、先天奇形、先天性心疾患 について、学ぶ。	太田 亨
3	小児の神経・筋疾患 代謝内分泌疾患	小児の神経疾患・筋疾患など について、学ぶ。	太田 亨
4	小児の腎疾患・血液疾患・悪性腫瘍・消化器疾患	腎炎・血液疾患・糖尿病・小児悪性疾患・消化器疾患 について、学ぶ。	太田 亨

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学環、学校の授業実施方針による

【評価方法】

Google classroom を利用した、レポート形式マークシート試験 100%。

【教科書】

その都度、プリントを配布する。

【参考書】

西 基 他 「New Simple Step小児科」 総合医学社

【備考】

Google FormやGoogle Classroom を活用し、資料配布や授業時間中にその場で学生の理解度を把握する。

【学修の準備】

予習は、各時限の講義項目の教科書領域を、一読し理解しておく（80分）。

復習は、講義項目のプリント内容を記憶する（80分）。

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP1. 安全で質の高い歯科医療を提供するために必要な専門知識に基づく問題解決能力と患者ケアのための診療技能とからなる専門的実践能力、および医療・医学研究の発展のために必要な情報・科学技術の活用能力を身につけている。

(専門知識に基づいた問題解決能力、患者ケアのための診療技能、情報・科学技術を生かす能力)

DP 2. 「総合的に患者・生活者を支える歯科医療」を提供するために必要な高い倫理観、他者を思いやる豊かな人間性および優れたコミュニケーション能力を身につけている。

(総合的に患者・生活者をみる姿勢、プロフェッショナルリズム、コミュニケーション能力)

DP3. より安全で質の高い歯科医療を実践し社会に適應する医学を創造していくために生涯にわたって自己および他の医療者との研鑽を継続しながら医療者教育と学術・研究活動にも関与できる能力を身につけている。

(科学的探究、生涯に渡ってともに学ぶ姿勢)

DP 4. 多職種（保健、医療、福祉、介護）と連携・協力しながら歯科医師の専門性を発揮し、患者中心の安全な医療を実践できる能力を身につけている。

(多職種連携能力)

DP 5. 歯科医療の専門家として、経済的な観点・地域特性を捉えた視点・国際的な視野を持ちながら活躍できる能力を身につけている。

(2026年度・歯学部)

(社会における医療の役割の理解)

【実務経験】

太田 亨 (医師)

【実務経験を活かした教育内容】

小児科医師としての実務経験を活かした講義をすることで、歯科医療の現場で役立つ知識、技術、態度の習得に寄与する教育を実践している。

【その他】

この科目は主要授業科目に設定している